

白石悠

数えきれないほどの、いのち

東海道線の車窓から景色が見える

この景色の中にどれだけのいのちが存在するだろうか

人のいのち、動物のいのち、虫のいのち、花のいのち、草木のいのち……

目が眩むほどの数えきれないいのちが、車窓から見える景色の中に存在している

僕のいのちがやがて消え行くように、この景色の中のいのちもやがて消え行くだろう

数えきれないほどのいのちの有限の輝きに、僕は静かに感謝の念を述べた